

平成27年2月17日08時06分の三陸沖の地震の震源要素について
(三陸沖の地震の震源位置の修正と津波の予想への影響について)

平成27年2月17日08時06分の三陸沖の地震に関し、詳細な解析を行った結果、震源位置の修正を行いました。詳細は以下のとおりです。

気象庁ではこのような事例への対応策について、早急に検討してまいります。

1. 震源位置の修正(添付資料1参照)

2月17日8時6分の三陸沖の地震の震源位置について改めて精査し、津波注意報発表時の位置から、修正を行った。

修正した震源位置は、津波注意報発表時より、西側(陸側)に約100km移動した。

原因は、この地震の直前に別の小さな地震が近くで起きており、津波注意報を発表した時点において2つの地震であると認識することが困難であったため。

2. 津波の予想への影響(添付資料2参照)

当初の震源で発表した津波注意報等は、次の通り。

津波注意報：岩手県

海面変動：北海道太平洋沿岸東部、北海道太平洋沿岸中部、
北海道太平洋沿岸西部、青森県太平洋沿岸、
宮城県、福島県、茨城県

津波注意報：高いところで1m程度の津波が予想される場合に発表

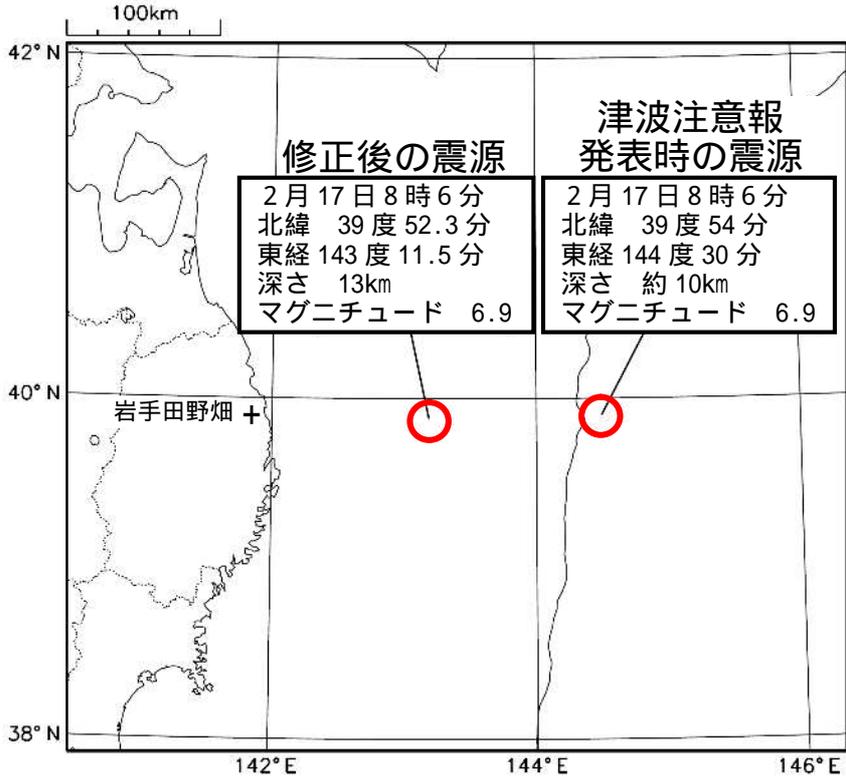
海面変動：高いところで0.2m未満の(津波による)海面変動が予想されるが、被害の心配が無い旨を発表

修正した震源を用いて津波を予想した場合、津波注意報発表対象予報区が広がり、津波到達予想時刻が10分早まる。

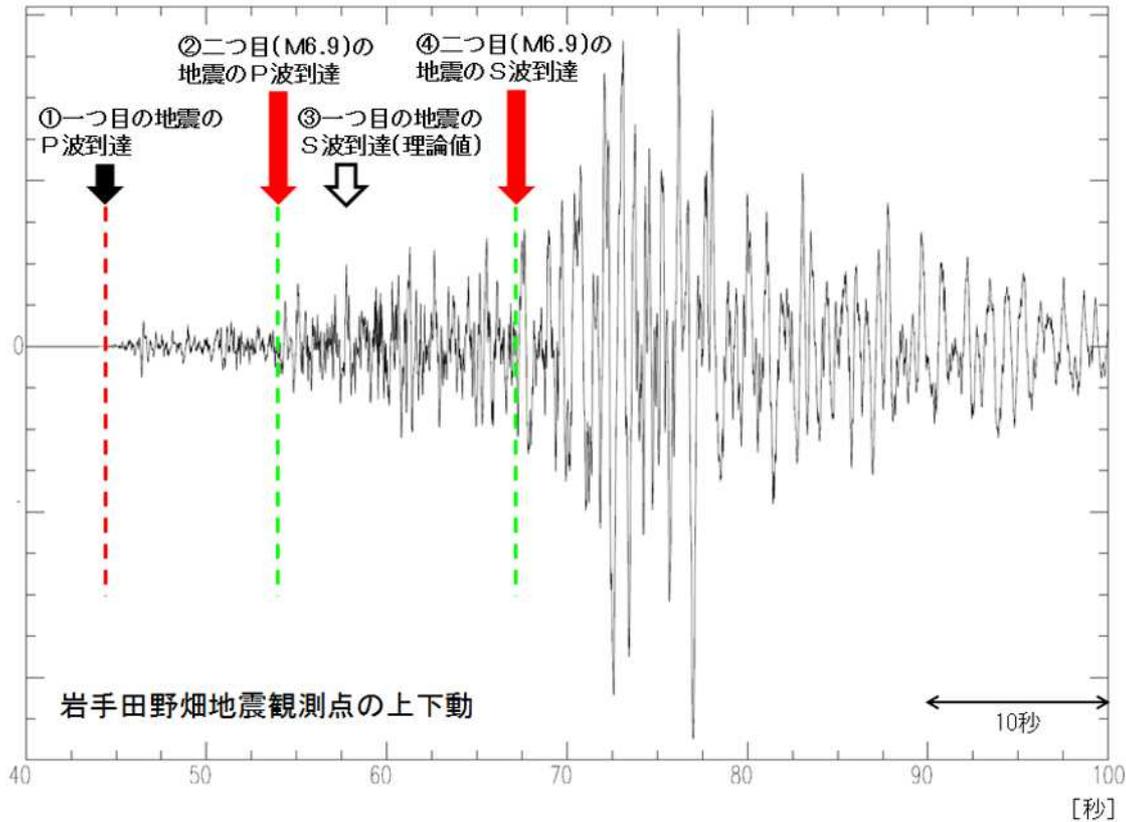
本件に関する問い合わせ先：

(1に関して)地震火山部地震予知情報課 03-3212-8341(内線4562)
(2に関して)地震火山部地震津波監視課 03-3212-8341(内線4542)

2月17日8時6分の三陸沖の地震の震源位置の修正



観測された地震波形の一例（岩手田野畑地震観測点）



本来震源は と の時刻の組み合わせで計算するところ、津波注意報発表時には、 と の組み合わせで計算を行ったため、観測点より約 100km 遠い場所に震源が計算された。

発表した津波注意報及び修正した震源による津波の予想と実際の観測値

添付資料 2



各津波予報区及び各津波観測点の津波到達予想時刻と津波の高さ

津波予報区	津波観測点	発表した津波注意報等の内容		修正した震源を使用した場合の予想		観測値	
		到達予想時刻	津波の高さ	到達予想時刻	津波の高さ	第一波の時刻	津波の高さ
北海道太平洋沿岸中部		-	0.2m未満	8時50分	1m		
	浦河	-		8時50分		第一波識別不能	微弱(0.1m未満)
	十勝港	-		9時00分		(津波観測なし)	(津波観測なし)
	えりも町庶野	-		8時50分		第一波識別不能	0.1m
青森県太平洋沿岸		-	0.2m未満	8時40分	1m		
	むつ市関根浜	-		9時00分		第一波識別不能	微弱(0.1m未満)
	むつ小川原港	-		8時40分		第一波識別不能	0.1m
	八戸港	-		8時50分		第一波識別不能	0.1m
岩手県		8時30分	1m	8時20分	1m		
	宮古	8時40分		8時30分		8時41分	0.1m
	大船渡	8時40分		8時40分		(津波観測なし)	(津波観測なし)
	釜石	8時40分		8時30分		8時35分	微弱(0.1m未満)
	久慈港	8時50分		8時40分		8時48分	0.2m